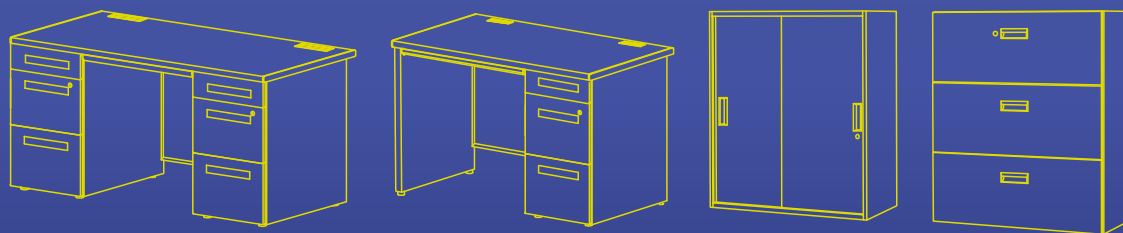


トヨセツ株式会社
統合報告書(環境、品質、社会)

2023年版



編集方針

内 容

トヨセットにおける環境活動に加え、事業概要、品質、社会貢献におけるの取組みを掲載した「統合(会社案内・環境・品質・社会貢献)報告書」となっています。

対 象

お客様、お取引先、社員、株主、地域住民、NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2023年版について

出来る限り各項目ごとに方針(ポリシー)を記述し、皆様にトヨセットの取組みを分かり易く伝えるように努めました。

報告対象期間

2022年度(2022年1月～12月)をベースに2020年、2021年、2022年の年度推移と2023年の現状報告を対象としました。

報告対象組織

- ・トヨセット株式会社
- ・トヨタミグループ各社
(ホームページ参照)

目 次

【事業概要】

1. 会社概要	2
2. 社是、企業理念	2
3. 事業内容	3
4. 財務データ	3
5. 商品案内	4
6. 拠点案内	6
7. 沿 革	7

品 質

1. お客様相談室	8
2. ISO9001・14001実施状況	8
3. 5S活動	9
4. 小集団活動	9
5. 改善活動	10
6. 製品試験状況	10

環 境

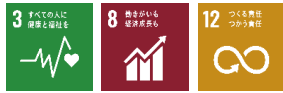
1. 環境基本理念	11
2. 環境マネジメント体制	11
3. 環境活動年表	12
4. 2022年活動概況	13
5. 環境に調和した製品開発	13
6. 生産プロセスでの環境保全活動	14
7. 緊急事態訓練	18
8. マテリアルバランス	19

社会貢献

1. 人 権	20
2. 労働慣行	20
3. 公正な事業慣行	20
4. 地域貢献活動	20
5. SDGsの取組み	22

事業概要

1. 会社概要



3.3、3.9、8.5、8.8、12.4、12.5

事業継続活動（コロナ・エコドライブ）対応、雇用と働きがいのある職場づくり、同一労働同一賃金、製品ライフサイクルを通じCO₂削減

- 【名 称】 トヨセット株式会社
- 【設 立】 昭和39年（西暦1964年）1月10日
- 【資 本 金】 3,980万円
- 【代 表 者 名】 代表取締役社長 川原田 淳
- 【社 員 数】 163名（平均年齢45歳）
- 【売 上 高】 64.5億円（2022年度）

2. 社是、企業理念



人・地域・自然を愛し、お客様の喜びを追求

【ご挨拶】

トヨタグループ創業者中村一治の創業精神「人のため世のためのものづくり」に基づき、事務用鋼製家具の製造販売を中心に快適な働く環境整備のお手伝いをさせていただいております。単なる道具としてのオフィス家具を提供するだけでなく、働く環境としての居心地の良い快適な空間づくりを目指しています。

トヨタ社憲にあるように、簡素にして機能本位で、材料使用を最小限に留めながら不必要な部分のない製品づくりと付加価値は消費者の為であることを常に念頭に置き、自然環境に配慮し、「使いやすく長く使える」製品をお客様にお届けするとともに、社員の健康と働きがいを育む働きやすい職場環境を醸成し、地域社会にお役に立てる集団づくりのために、謙虚に、しかし誇りをもって日々精進してまいります。

トヨタ社憲（抜粋）

- ・ 会社は報恩の為に存在する
- ・ 永遠に業務を続けなければならない
- ・ 製品は簡素にして機能本位であること
- ・ 製品への材料使用を最小限に留め 不必要な部分のないこと
- ・ 付加価値は消費者の利益の為であること
- ・ 全社員は常に健康であり、怪我損傷のない様に 協同、努力しなければならない

社 是

正しいことをしよう 世のため 人のため

企 業 理 念

人を愛し 地域を愛し 自然を愛し
愛される道具づくりと お客様の喜びを追求します

社長メッセージ

2023年はコロナ感染が一息つき経済活動が従来の活気を取り戻しつつある年となりましたが、反面地球環境問題は目指す改善どころか地球沸騰化と言われるほどの異常気象現象が各地で発生し、生態系にも大きな変化を及ぼしています。

600～700万年と言われる人類史上において0.01%にも満たない直近200～300年での産業革命による都市化・人工化が人類の存亡に危機的な環境破壊をもたらしています。

更には世界的な人口増加で地球資源と人口の均衡が崩れ、人類が輩出した化学物質による環境汚染で疫病を蔓延させ、このままでは人類は滅亡の一途をたどることにならざるを得ません。

自然はゴミを出しません。自然に学び、人類の持続可能な地球環境を取り戻し、人と自然が共生する健全な暮らしを創造していく必要があります。

足元の私達の企業活動はまだまだ環境負荷の高い状況ではありますが、社員の環境意識の向上を図り、生産・物流・販売面での見直し・改善及び修理・再利用・再資源化等の循環型社会の構築に邁進していく所存です。



代表取締役社長 川原 淳

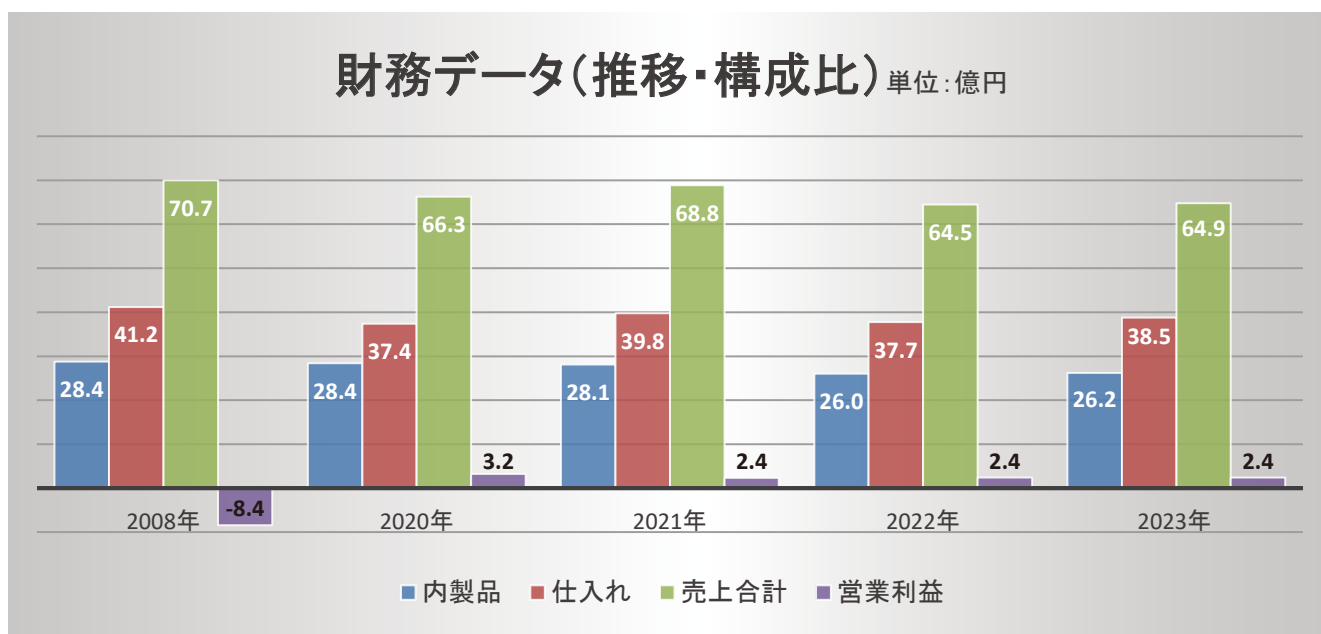
3. 事業内容

3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も
12 つくる責任 つかう責任
3.3、3.9、8.5、8.8、12.4、12.5
愛される道具作りがSDGsの達成と目的になり、社員一人ひとりが自覚し、役割を果たす(当社の自立性と全体最適)

- ・ オフィス家具の商品企画、設計・開発、製造及び販売、並びに石油ストーブ類及び家庭用電気機器の受託製造

※売上の99%はオフィス家具・備品で占められています。

4. 財務データ 2007年駒ヶ根工場創業



5. 商品案内

□ 取扱い品目



7.3、9.4、12.4、12.5
製品の安全性・品質保証 (ISO9001) ・環境配慮・
社会課題解決 (コロナ禍対応) など



ワークステーション



デスク



OA テーブル・ラック



会議・ミーティングテーブル



ハイグレードチェア



オフィスチェア



ローパーティション・スクリーン



会議・ミーティングチェア



会議・研修室用家具／備品



ホワイトボード・掲示板



ラウンジ・リフレッシュ家具



システム収納家具・スライド書架



収納家具・整理用品



ロッカー・シューズボックス



耐火金庫



役員用家具



応接用家具



ロビーチェア・ベンチ



カウンター



オフィスアクセサリ



サインシステム



屋外用家具・備品



ベッド・レセプション用家具



間仕切・内装材



工場・物流用家具



高齢者・医療施設用家具



学校・図書館用家具



店舗用家具



官公庁仕様家具／防災用品

□各シリーズ

50S シリーズ

一般的なオフィスワークに必要な十分なコードホール式デスク。奥行きは3サイズ。スペースへのこだわりにもきっちり対応できるデスクタイプです。



FNR シリーズ

シンプルなパネル脚、配線投込み式が特徴の FNR ユニットデスク。最大 W1,200 まで連結でき、フリーアドレスを構成できます。



NTS シリーズ

選べる脚タイプ・ワイヤリング機能・連結機能は様々なスタイルに変化し、パーソナルワークからミーティングまでフレキシブルに対応します。



MODEE シリーズ

新しいワークスタイル「立ち会議」「スタンディングワーク」...働くオフィスを見直し、「働き方」を変革することで、オフィスの生産性・ワーカールのモチベーションアップにつなげます。



VP-FN シリーズ

スチール家具の機能性を活かしたシャープで都会的なイメージのエグゼクティブシリーズです。



HS ウォールシリーズ

オフィスに映える洗練された美しさと、無駄のない機能性。HS ウォールシリーズは、随所にスマートデザインを意識したシステム収納家具です。



6. 拠点案内



本社・工場

本社	名古屋市熱田区金山町1丁目6番18号
駒ヶ根工場	長野県駒ヶ根市赤穂14701番1

支店・営業所・出張所・事務所

札幌出張所	札幌市西区八軒七条東5丁目3番8号
東北営業所	仙台市宮城野区原町2丁目3番42号
東京支店	東京都文京区白山1丁目13番7号 アクア白山ビル8階
横浜出張所	横浜市神奈川区東神奈川1丁目14番35号 サンハロー東神奈川駅前301号
群馬事務所	群馬県高崎市福島町794番21 シティハイツガーネット206
静岡営業所	静岡市駿河区宮竹1丁目15番10号 オフィスプレステージD号
長野出張所	長野県駒ヶ根市赤穂14701番1
北陸営業所	福井市城東4丁目26番34号 広田第一ビル1階
新潟出張所	新潟市中央区東大通2丁目1番20号 ステーションプラザ新潟ビル605号室
富山事務所	富山市千歳町1-6-18 河口ビル(本館)2階
名古屋支店	名古屋市熱田区金山町1丁目6番18号
大阪支店	大阪市中央区東平2丁目1番21号 ベルンガーデン東平2階
広島営業所	広島市西区商工センター6丁目4番20号
九州支店	福岡市博多区博多駅東3丁目13番28号 ヴィトリアビル7階

物流センター

東部物流センター	東京都文京区白山1丁目13番7号 アクア白山ビル8階
中部物流センター	愛知県岩倉市八剣町池田18番地

7. 沿革

- 1949年…………… 名古屋市瑞穂区熱田東町に豊臣工業株式会社（現・株式会社トヨトミ）を設立し、主として株式会社豊田自動織機製作所（現・株式会社豊田自動織機）・日本電装株式会社（現・株式会社デンソー）の下請けとして紡織機部品等の生産を開始する。
- 1952年…………… 自社製品、石油コンロ・石油ストーブ・石油バーナー・石油ボイラー等の生産を開始する。
- 1961年…………… 豊臣工業株式会社安城工場（安城市今本町東向山7番地）において鋼製事務機の生産を開始。
- 1963年…………… 鋼製事務機・椅子の日本工業規格（JIS）表示許可工場の指定を受ける。（業界初）
- 1964年…………… 豊臣工業株式会社安城工場を分離独立させトヨセット株式会社を創立、単独JIS工場となる。
- 1966年…………… 豊臣工業株式会社鋼製家具販売部を吸収し、本社に販売部を東京・九州に営業所を設置する。
- 1968年…………… 安城市今本町西向山7番地に新工場を建設、本社所在地を同所に変更する。
（1工場3,240㎡、18,000台/月産、1.5億円投資、96人体制）
- 1970年…………… 名古屋営業所を設置する。
- 1973年…………… 大阪営業所を設置する。
- 1975年…………… 石油ストーブ（芯上下式）生産を日本燃焼器具検査協会の合格証（JISマーク）により開始する。
- 1977年…………… 石油ストーブJIS表示許可工場の指定を受ける。
- 1993年…………… 東京営業所を東京支店に昇格させる。
- 1995年…………… 良質低価格時代に対応し、CSシステムデスクを販売する。
- 1999年…………… ISO（国際標準化機構）9001を認証取得。
- 2000年…………… ISO（国際標準化機構）14001を認証取得。
- 2001年…………… 販売部門を強化するために、静岡・北陸・広島に営業所を設置する。
- 2002年…………… ISO9001：2000年版移行審査、取得。
- 2004年…………… 本社工場（愛知県安城市）に環境にやさしい粉体塗装設備を導入。
- 2005年…………… 物流網を強化するために東部物流センターを設置。
- 2006年…………… 名古屋・大阪を支店に昇格させる。
物流網を強化するために中部物流センターを設置。
ISO14001：2004年版移行審査、取得。
- 2007年…………… 自社ブランド「トヨセット」創設。
プランニング課・お客様相談室を創設。
九州営業所を支店に昇格させる。
駒ヶ根市に環境配慮型の新工場を建設。
販売部門を強化するために長野出張所を設置。
- 2008年…………… システム収納家具「HSウォール」を販売する。
- 2009年…………… ISO9001：2008年版移行審査、取得。
- 2010年…………… 更なる顧客ニーズに応えるため、「トヨセット」ブランドを「トヨスチール」ブランドへ統合。
- 2012年…………… 販売部門を強化するために横浜出張所を設置。
- 2015年…………… 創立50周年を記念して開発した50シリーズシステムデスク・ユニットカウンターを発売する。
- 2016年…………… 販売部門を強化するために新潟出張所を設置。
- 2017年…………… ISO9001：2015年版移行審査、取得。
ISO14001：2015年版移行審査、取得。
「ISO自己適合宣言」へ本格的に活動を開始。



初代：中村一治社長



昭和36年に生産を開始した鋼製事務机

「品質の基本的な考え方」…使いやすく、長く使える製品づくりや商品提供を基本に

1. お客様相談室



9.1
品質保証 (ISO9001 を通して顧客クレーム対応・品質を保証する仕組みを構築) …品質アタック・3H・お客様相談室

■お客様相談室の取り組み

私たちは、お客様とのコミュニケーションを大切にするとともに、「お客様本位」を実現し、企業理念である「人を愛し 地域を愛し 自然を愛し 愛される道具づくりと お客様の喜びを追求します」をモットーに、お客様の声を商品・サービスの改善につなげられるよう 2007 年よりお客様相談室を設置しております。年間約 400 ～ 500 件のお問い合わせをいただいております。お客様の更なる満足の維持、向上に貢献できるよう努めます。

■お客様相談室の行動指針

お客様の声(お問い合わせ・ご意見・ご要望・ご指摘)に対して、迅速・誠実・的確・公平に対応します。

お客様の声(お問い合わせ・ご意見・ご要望・ご指摘)に対して、内容を分析し、商品の開発や改善を行い、お客様に喜ばれる商品を提供します。

お客様に喜んでいただける様々な情報を明確かつ平易に提供します。

お客様の権利を保護するため、消費者保護に関わる法規を遵守します。

■お客様相談室への問い合わせ方法

フリーコールにて月曜から金曜(祝日、年末年始、GW 期間、夏季休暇を除く)の 10:00 ～ 12:00・13:00 ～ 17:00 で対応しています。

当社ホームページの問い合わせメールフォームより受付しています。

2. ISO9001・14001 実施状況



9.1、9.4
品質保証 (ISO9001 を通して顧客クレーム対応・品質を保証する仕組みを構築) …品質マネジメントシステムによる内部監査・外部審査・確認審査

※認証取得審査と自己適合宣言によるダブルスタンダード開始

【外部審査】

2017年に2015年版に移行し今年8月に外部の認証審査機関による再認証審査を受審して認証を継続しています。

【内部監査】

社内資格を取得した内部監査員により各部署年1回内部監査を実施し、ISO9001・14001の要求事項並びに品質・環境マネジメントシステムへの適合性や、PDCAサイクルによる活動の有効性を監査しています。

【自己適合宣言の確認審査】

2016年11月7日、活動開始(2015年版変更・内部監査員教育)



自己適合宣言の確認審査(駒ヶ根工場事務所)



自己適合宣言の確認審査(本社事務所)

3. 5S 活動



労働安全衛生委員会、職場環境改善活動、社会貢献活動
地域への配慮

私たちは、職場が綺麗になるだけでなく、仕事のムダをなくし、自ら気づいて動ける人材が育つ環境づくり、従業員の教育の一環として 5S 活動を行っています。



駒ヶ根工場では 4 月～9 月の間は月 1 回工場敷地内の草取りと工場(町 4 区)周辺のゴミ拾いを全社員で実施



毎朝 8 時から 8 時 30 分の 30 分間は工場内の 5S 活動と本社(金山 1 丁目)周辺清掃活動(ボランティア)を実施

4. 小集団活動



技術的・職業的スキルを備えた若者を増やす

駒ヶ根工場では QC サークル事例発表を行っており、2022 年 11 月時点で第 72 回を迎えました。
小集団による実践から QC を学び、各現場にて品質への向上心、仲間意識やチーム力を育てています。

【活動期間】年 1 回テーマ完結(11 月に社内発表会開催)

【サークル数】10 サークル

【効果】品質向上、クレーム未然防止、事故品・手直し低減、安全性の向上
年間効果金額 533,376 円

5. 改善活動



適切な能力開発、教育訓練の機会を社員に提供（経営貢献に繋げる）

2022 年年末表彰事例

【品質】

- ・サークル員全員で品質改善に取り組み、社内QCサークル大会での優秀な成績を評価
H2Sサークル（設備管理係・品質管理係・改善係）
- ・倉庫出荷業務において欠品、誤出荷ゼロの実績を評価
生産管理課 受入・出荷係

【環境整備】

- ・毎朝の5S活動の成果を評価
加工係 袖箱・収納チーム

【業務改善提案活動】

- ・業務改善提案に積極的に取り組んだ社員を評価

提案件数	第1位	99件
	第2位	94件
	第3位	88件
年間効果金額	第1位	15,200千円
	第2位	6,886千円
	第3位	5,794千円

6. 製品試験状況

私たちは、お客様に満足いただける製品を提供できるようJIS規格（日本工業規格）をベースとし、独自の品質基準を設け、性能試験（強度試験や耐久性試験）を行い、製品の評価をしております。



構造の剛性試験（耐久性試験）



引き出しの耐久性試験



1. 環境基本理念

我々は現状の地球環境が危機的な状況であることを認識し、次の世代へ憂いを残さぬよう、自然環境の保全・改善を常に念頭に置き、事業活動のみならず私生活においても環境負荷低減に努めます。

<環境方針>

1. トヨセットの事業活動が地球環境や社会に与える影響について認識し、極小化に努めます。
2. 環境関連法規制及び当社が同意した協定・指針等を遵守するとともに、必要に応じ自主基準を設定し、これを遵守します。
3. 環境管理活動の基本となる文書を制定し、それを見直し・改善することにより、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
4. 環境目的・目標を定め環境保全活動の継続的向上に努めます。
5. 製造設備並びに用役設備の使用燃料の節減と、節電運動を展開します。
6. 環境に配慮した調達と仕組みづくり、製品開発、製品製造、研究に加え、省資源、排出物の抑制・適性処分・再資源化を推進します。
7. 地球温暖化の防止、水資源の保全、生物多様性の保護に努めます。
8. 地球環境への認識を高め、環境に貢献できる人材を育成し、一人ひとりが環境保全を意識して活動します。
9. この環境方針を実行・維持し、全従業員並びに関係する人々に周知し、広く一般に開示します。

2. 環境マネジメント体制

トヨセットは、社会生活による地球環境が年々悪化してきていることから、将来に向けて環境型社会や環境保全の必要性を考慮し、2000年9月環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を認証取得しました。

[認証取得拠点：本社、駒ヶ根工場(2023年9月現在)]

※「サーキュラー・エコノミーへの適合を経営方針の根幹に置いて事業存続を図る」

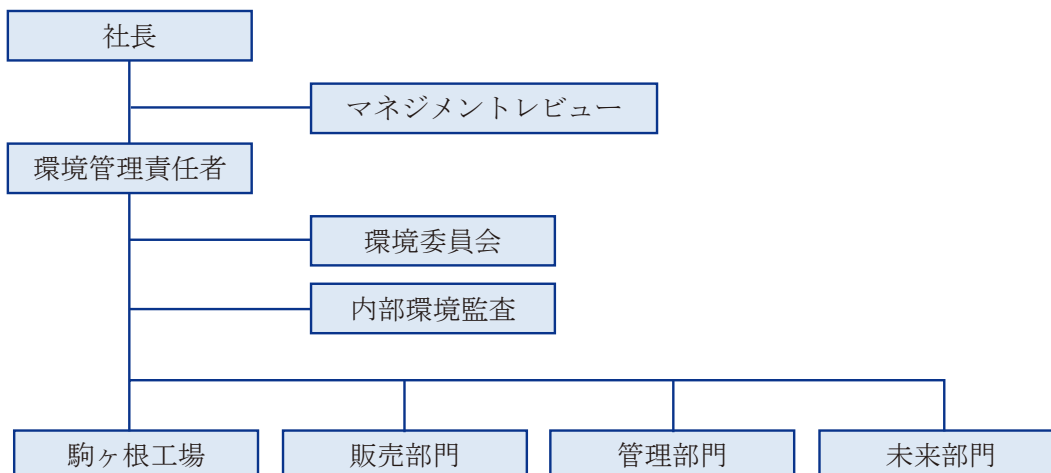
環境のゴミ(廃棄物の削減)⇒ (3R=循環型社会を目指す)…発生量の抑制、再利用、再資源化

□循環型社会の構築に向け、廃棄物を適正に処理するだけでなく、リデュース・リユース・リサイクルの3Rが重要な課題として、次式にて求められます。

$$\text{リサイクル率(\%)} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間リサイクル量} + \text{集団回収資源量}}{\text{ゴミ排出量} + \text{集団回収量}}$$

※当社リサイクル率(\%) = 84% (届出、測定集計分のみ)

環境基本理念のもとに「環境委員会」を設置し、環境管理責任者を委員長として環境保全活動の策定、推進、実行管理に取り組んでいます。



※2022年4月1日

将来を見据えて未来部門を創設

(デザイン・製品開発、ISO、設計、SNS、周年事業)

3. 環境活動年表

環境保全、環境配慮型製品の開発及び製造など、常に環境に配慮した社会活動を考え取り組んでいます。

2000年	<p>企業の環境保全活動の必要性を考慮し、ISO(国際標準化機構)14001を認証取得する。</p> <p>環境対応をコンセプトに「3R」化を徹底させたASXシリーズデスクを発売。</p>
2004年	<p>本社工場(愛知県安城市)に、環境にやさしい粉体塗装設備を導入。</p>
2005年	<p>デスク天板の化粧板を貼り付ける接着剤を厚生労働省指定物質を含まない接着剤に切替え。</p>
2006年	<p>ISO14001:2004年版移行審査、取得。</p>
2007年	<p>長野県駒ヶ根市に環境配慮型の新工場を建設。</p> <p>■外壁・屋根材 高断熱で高气密なパネルを外壁材に、屋根には耐紫外線材を使用し、工場空調の省エネ性を高めています。</p> <p>■空調設備 空調設備に地下水や各種設備の廃熱を利用。地球温暖化ガス(CO₂)の抑制と低減に取り組んでいます。</p> <p>■液化天然ガス(LNG) 塗装設備に使用するエネルギーにCO₂の排出が少ない液化天然ガス(LNG)を採用。重油や灯油に比べ約3割程度の排出削減効果が現れます。また、煤塵やNOX(窒素酸化物)、SOX(硫黄酸化物)の排出も重油ボイラーに比べ少なくなっています。</p> <p>■粉体塗装 VOC(揮発性有機化合物)や有機溶剤を含まない粉体塗装方法を採用。錆や傷、汚れに強く、耐久性に優れたクリーンなエコ塗装です。VOCや有機溶剤を大気に放出することがなく、また、工場内の作業環境も社員に優しくなっています。</p>     
2014年	<p>新「環境方針」を制定。</p>
2015年	<p>リサイクルしやすい素材や再生素材を積極的に採用したトヨセット創立50周年記念モデル「50シリーズシステムデスク・ユニットカウンター」を発売。(再生素材比率33%)</p>
2017年	<p>ISO14001:2015年版移行審査、取得。</p>
2019年	<p>脱廃プラ活動開始。</p>
2021年	<p>梱包用シュリンクフィルムの削減。(脱プラの取組み)</p>
2022年	<p>梱包用ポリシートの削減。(脱プラの取組み)</p>



4.2022 年活動概況

環境方針に基づいて環境施策を有効に機能させるため、全社環境目的・目標を設定し各職場に展開して取組みを進めています。

主な環境目的・目標と実績一覧

環境目的	環境目標	環境実績	評価
電気使用量の削減	駒ヶ根工場 1,204.8kWh/生産高百万円以下	1,069.6kWh/生産高百万円	○
LNG 使用量の削減	駒ヶ根工場 135kg/生産高百万円以下	121.74kg/生産高百万円	○
リサイクル対象物と廃棄物の分別の徹底	駒ヶ根工場 燃やすゴミ排出量 1.62kg/生産高百万円以下	1.80kg/生産高百万円	×
排水処理水による河川の汚濁防止	駒ヶ根工場 排水処理水基準値オーバー 0 件	基準値オーバー 0 件	○
環境対応商品の積極的採用	販売部門 カタログ新規採用商品の 93% 以上を グリーン購入法対象商品へ	グリーン購入法対象商品 98.5%	○



5. 環境に調和した製品開発

トヨセットは、リデュース・リユース・リサイクルの 3 R 活動を積極的に推進しています。

再資源化	分別設計と、ひと目でわかる素材表記により再資源化しやすい商品づくりを推進しています。
再利用	吹き付けた後に残った塗料を再利用する。 環境に優しい粉体塗装を施しています。
省資源化	省資源化のため、部品を共通使用できる商品づくりを行っています。
再生材料	樹脂や布地など、様々な商品に再生材料を積極的に使用しています。
リサイクル促進	リサイクルしやすい商品を作ることはもちろん、リサイクルを促進するための商品もご用意しております。
ロングライフ化	部品の交換が容易なものや、取り外して洗える張地など、長い間お使いいただける商品づくりを行っています。

トヨセットは、商品のライフサイクルを通して、環境保全に積極的に取り組んでいます。

エコマーク認定商品	エコマークは、環境に配慮した商品につけられる環境ラベルです。 商品の生産から廃棄までのライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられています。
グリーン購入法適合商品	グリーン購入法とは、製品やサービスを購入する際に、環境に配慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することを目的とし、環境負荷が小さいと認められた商品につけられています。

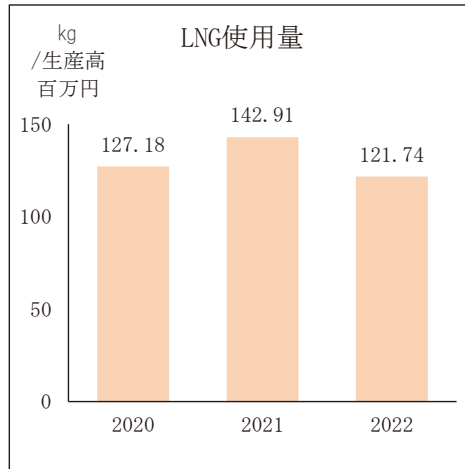
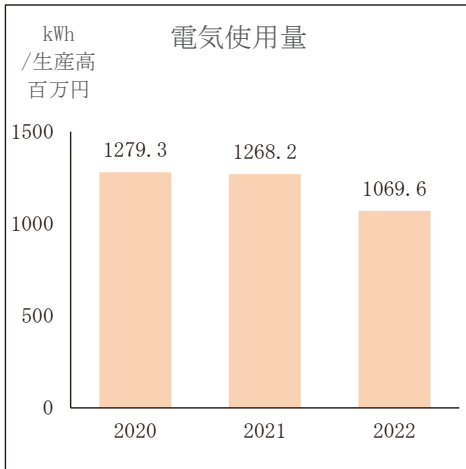
6. 生産プロセスでの環境保全活動

生産活動における環境負荷を低減するための省エネ運動や、排出物の抑制及び再資源化に取り組んでいます。



省エネルギー・職場環境の保全

【エネルギー消費量】



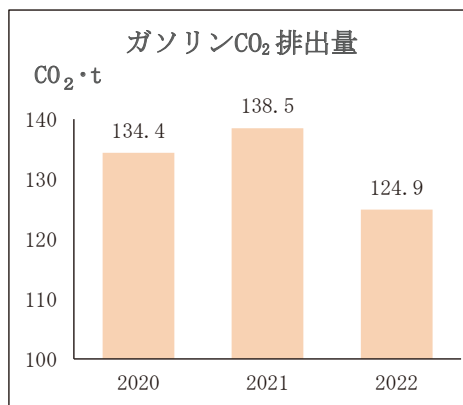
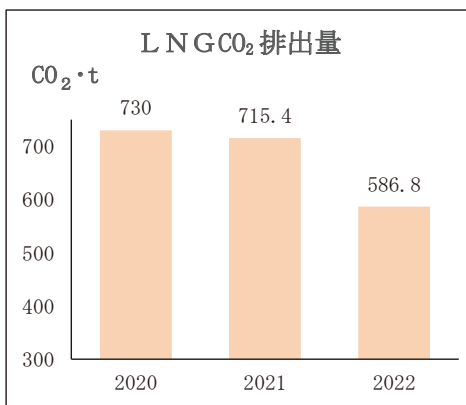
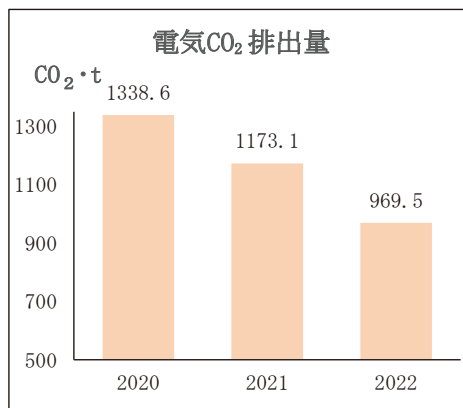
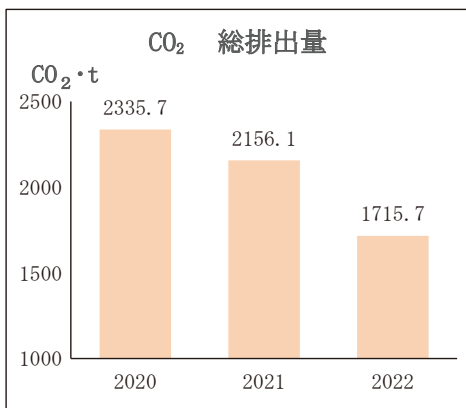
来期より信州 Green 電気プロジェクト参加を検討…天竜川の水資源活用(地球に優しい電気)



CO₂排出量の2035年半減推進

【CO₂排出量】

- ・事業活動(工場・本社・物流・営業)におけるCO₂排出量推移グラフで前年対比、7%、16%と大幅削減効果があります。パリ協定が目指す「1.5℃目標」達成のため、購入商品やサービスを対象とした排出量を2035年迄に半減する活動を推進。
- ・政府主導のカーボンニュートラル：事業活動のライフサイクル全体で見て、排出量と吸収量がプライスマイナスゼロを2050年までに達成することを推奨する。
- ・全社CO₂総排出量とCO₂排出量トップ3を掲示





【省エネ活動実績】

フォークリフト作業の廃止

AGV(無人搬送車)を積極的に導入し、人と環境にやさしい工場造りを目指しています。



LED 照明への更新

水銀灯・蛍光灯を LED 化する事により電力使用量を削減しました。

消費電力量 (kWh/年)	水銀灯	LED照明	削減量
	34,169kWh	12,259kWh	△21,910kWh
消費電力量 (kWh/年)	蛍光灯	LED照明	削減量
	79,405kWh	31,267kWh	△48,138kWh



塗装前処理ラインの水切り工程の改善

課題：電気代が嵩む

従来方式

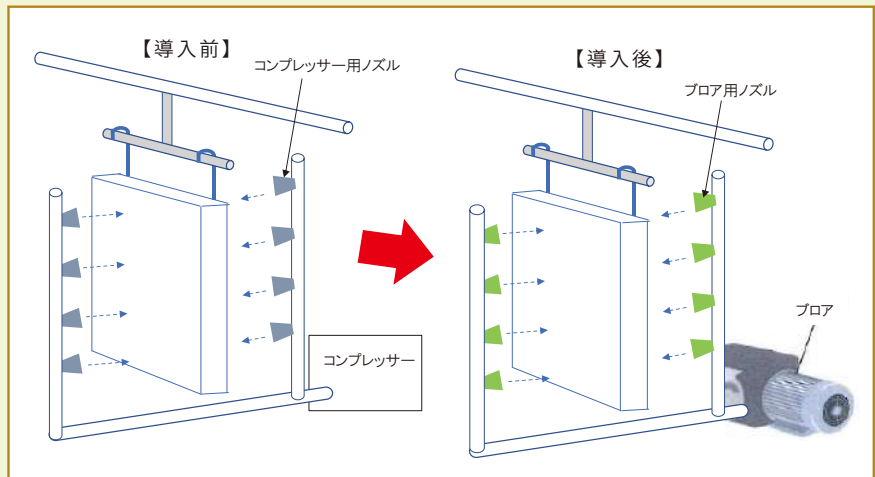
エアースource: コンプレッサー
ノズル: コンプレッサー用

解決策

エアースource: プロア
ノズル: プロア用

効果

プロアへの切り替えにより大幅な省エネとCO₂排出量の削減を実現。
電気使用量/CO₂排出量を約80%を削減。
削減消費電力・・・78,929kWh/年
削減CO₂排出量・・・37,096kg/年

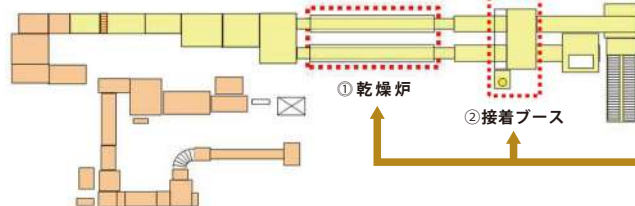


ライン統合による省エネ

2ラインあった設備(乾燥炉・接着ブース)を統合する事で電力使用量を大幅に削減しました。

消費電力量 (kWh/年)	統合前	統合後	削減量
	354,858kWh	125,263kWh	△229,594kWh

【改善前】天板工程 2ライン



天板第1ライン

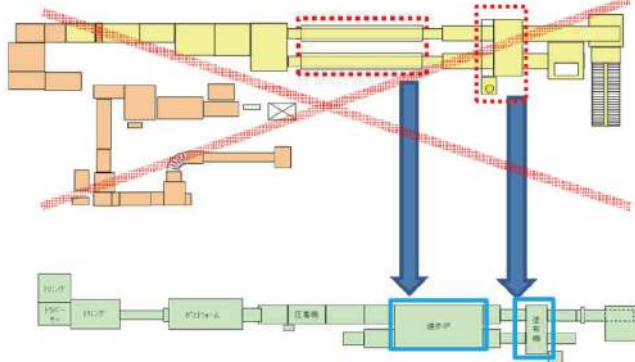
①乾燥炉



②接着ブース



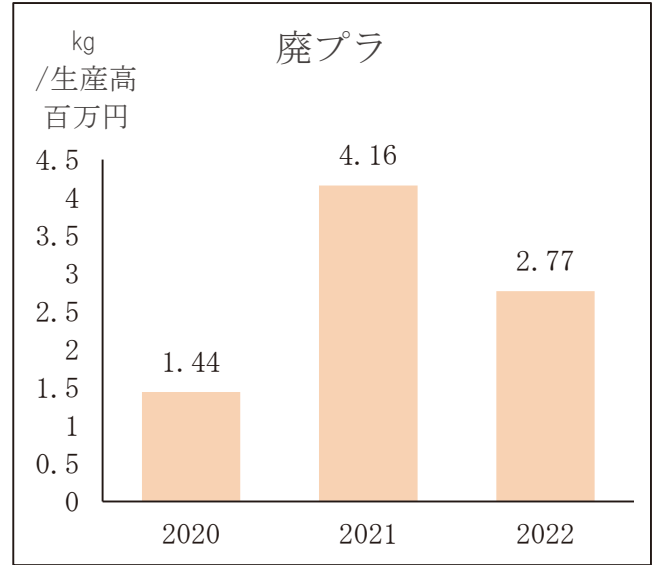
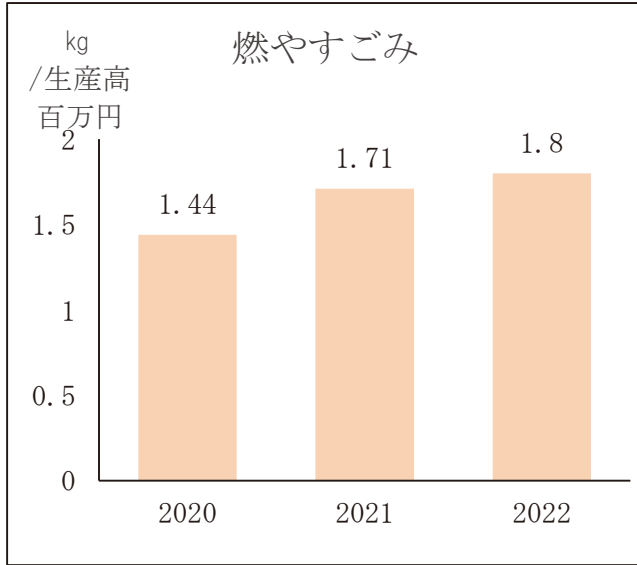
【改善後】天板工程 1ラインに統合



※統合によりライン撤去

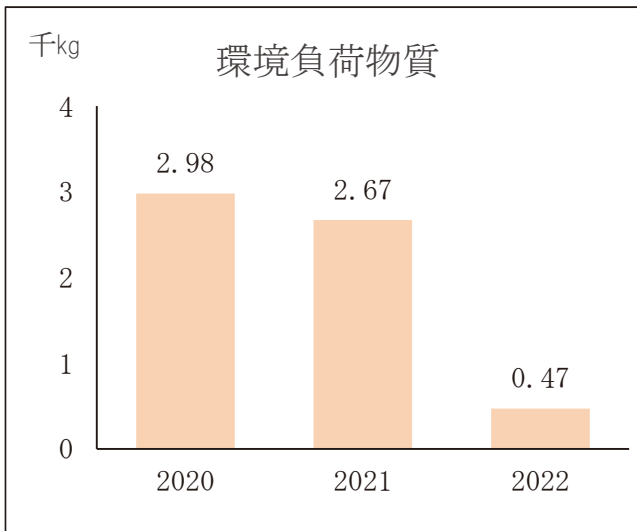
第1ラインの製品も
第2ラインで生産出来る様に統合

【廃棄物量】



(※増加要因：3年連続生産高減の為、原単位に影響)

【環境負荷物質、排ガス量、排水量】



・ 持続的経済発展のためには、地球環境に配慮した製品開発、提供が不可欠です。このため、当社では ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを運用し、PRTR 法・化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律・毒物及び劇物取締法等の環境規制や、顧客要求に基づき、環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止に積極的に取り組んでいます。

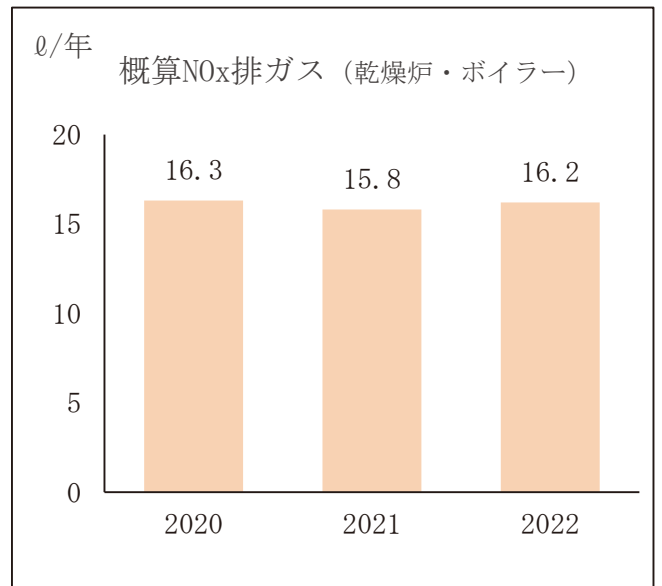
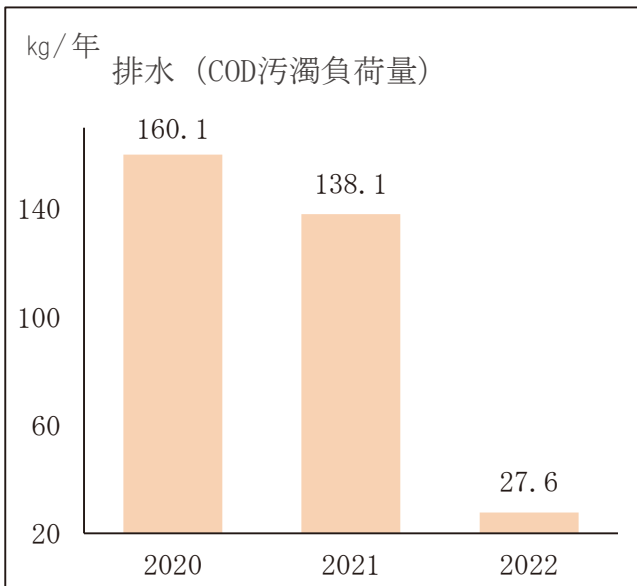
(接着剤 2021.10 月改善)

※該当環境負荷物質

2021年10月20日、化学物質排出把握管理促進法改正により
53- エチルベンゼン、80- キシレン、235- 臭素酸の水溶性塩、
300- トルエン、354- フタル酸ジ-ノルマル-ブチル
該当 5 物質取扱品・・・法規制非該当

(事務機の接着剤、洗浄用、補修スプレーに使用)

(※CO₂排出量の主要因は工場の電気とLNGで塗装の4ライン⇒2ライン化改善によるものです)



※2020年、2021年は測定器校正ズレ



使用部材の SDS 見直し

【PRTR 法への対応】

駒ヶ根工場では、PRTR 法(化学物質管理促進法)対象物質を含めて使用部材の SDS(安全データシート)見直しを実施し、担当部門で取りまとめ、取り扱い上の注意事項、安全性について関係者への周知徹底に努めています。

取扱量の算出結果

駒ヶ根工場では、PRTR 対象物質のうち届出対象となる使用量の物質はシンナーと化成剤で接着剤はノルマル-ヘキサンより脱 VOC 品に変更になりました。塗装は全て粉体塗料を使用しており、届出対象にはなりません。

トヨセット(株) 駒ヶ根工場の PRTR 法対象物質取扱量

単位: kg

政令番号	第一種有害物質名	CAS No.	2022年				合計
			取扱品				
			塗料	5Aシンナー	接着剤	化成剤	
53	エチルベンゼン	100-41-4			0.00		0.00
80	キシレン	1330-20-7	0.08		0.00		0.08
235	臭素酸の水溶性塩					255.84	255.84
300	トルエン	108-88-3	0.12	218.40	0.00		218.52
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	84-74-2			0.00		0.00
合計			0.20	218.40	0.00	255.84	474.44

※含有率が1%以上が対象 ※届出対象は年間取扱量1トン以上

※接着剤の脱溶剤化(2021年10月より)



グリーン購入基準の設定(JOIFA)

【グリーン購入】

■グリーン購入法適合品採用目的

当社は、国等による環境物品等の調達等の推進等に関する法律であるグリーン購入法に基づき、環境負荷の少ない持続可能な社会の構築を目指し、グリーン購入法適合商品を積極的に採用しております。

■グリーン購入法適用指針

当社は、開発設計・製造・流通・使用・廃棄にいたる商品のライフサイクルを通して、環境保全に積極的に取り組みます。当社は、3R活動とサーキュラー・エコノミーを積極的に推進します。

■採用方法及び適合表記

グリーン購入法の手引き[オフィス家具等]の品目及び判断基準等を満たしたものを採用し、カタログ上にグリーン購入法適合表記をしています。

7. 緊急事態訓練

■排水処理装置、LNG タンク、有機溶剤取り扱い、粉体塗装工程など、環境に重大な影響を与え得る設備、装置は毎年点検と訓練を行い、手順を関係者に周知するとともに手順の有効性を評価しています。

【排水処理業務】



【LNG 取り扱い】



【有機溶剤取り扱い教育】



【粉塵爆発教育】



【火災訓練】



【火災訓練】



【通報訓練】



【救護訓練(AED)】

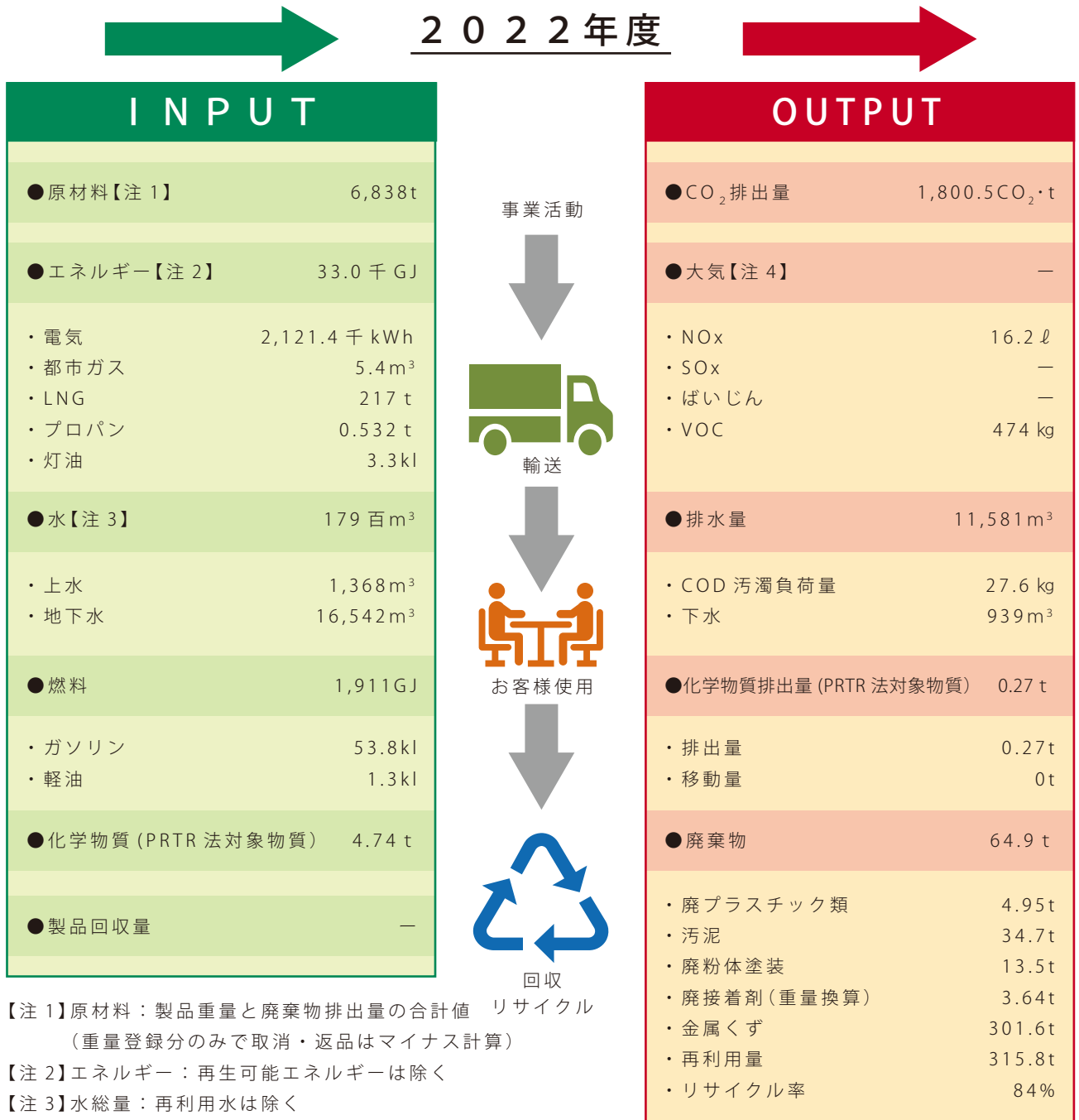


8. マテリアルバランス

当社では、事業活動に伴って発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために商品企画、設計・開発、製造及び販売、輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行っています。

2022年度におけるエネルギー、化学物質などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。

今後、環境負荷の低減に取り組むと共に、データ把握の範囲を拡大し、多面的なデータ把握をすすめます。



社会貢献


1. 人権



障害者雇用、女性比率向上、女性管理者増へ

- ・女性の積極的採用を進め、直近5年は毎年1%ずつ女性比率が上昇しています。2018年5月に初めて女性の営業職社員を採用しました。2020年に女性管理職が1名から3名になりました。
- ・障がい者雇用率は直近5年は法定雇用率を下回るものの2024年度以降の採用にてクリアする予定です。
- ・車いすで利用可能な多目的トイレが設置されています(駒ヶ根工場)

2. 労働慣行




雇用の維持と働き甲斐のある仕事・働きやすい職場環境の構築、同一労働・同一賃金を基本に適正な評価制度の整備・改善を図ります。

働き方改革の実施状況

- 2018年本社と駒ヶ根工場間の会議をWEB会議にて実施。
- 現在は、他社との打合せやISO外部審査でも利用。
- 2020年4月 在宅勤務制度実施。
- 2020年5月 フレックスタイム制度実施。
- 駒ヶ根工場でAGV(無人搬送車)の推進。
- 駒ヶ根工場の出荷作業にハンディターミナルを導入。
- 本社で業務自動化ツール「RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)」を採用。
- コミュニケーションツールとして「LINE WORKS」を採用。
- 高齢者・障害者の雇用推進。
- 2019年より人事評価制度の見直しを実施。
- 職種、役職に合わせた評価制度の確立を推進。

3. 公正な事業慣行



内部通報制度、下請法の順守、コンプライアンス

社是

「正しいことをしよう 世のため 人のため」


企業理念

「人を愛し 地域を愛し 自然を愛し 愛される道具づくりと お客様の喜びを追求します」

のもと社内規定、社会規範、倫理などを順守し公正・誠実な事業活動を行ってまいります。

- 2014年管理部に内部通報及び相談受付窓口を開設し、社内外からの申告を受け、法令違反、規定違反、各種ハラスメント等の防止に努めています。
- 下請法の順守徹底を行ってまいります。

4. 地域貢献活動



周辺のゴミ拾い、工場見学、地域交流会

- 地域清掃活動(ゴミ拾い、草取り)…ボランティア袋にて回収
 <本社(金山一丁目周辺)、駒ヶ根工場(工場周辺)>



(名古屋市認定エコ事業所)



開放公園
(駒ヶ根工場 南側 枝垂桜付近写真)

- 工場敷地内に開放公園を設置…利用促進のための改善推進

□長野県の駒ヶ根工場の地域貢献活動

つなぐ♡HUB(ハブ)が主催するこども教室「アルパカフェ」と、JICAの駒ヶ根青年海外協力隊訓練所との合同企画の開催場所として、トヨセット駒ヶ根工場の2F会議室を提供。

内容は、「キルギス共和国の子どもたちと算数バトルをしよう」「実は大切な宗教 ネパール編」など様々で、小学生から大人まで多様性について学ぶことができる。

□子育て世代の女性を支援する駒ヶ根市の市民団体（現状、コロナ禍で中断）つなぐ♡HUB(ハブ)の「りとるまみーずわーくす」に対して多様な経歴を持った青年海外協力隊を通じて子どもたちが世界に目を向けられるようにするための支援活動。



◆家族見学会

□どの様な職場なのかを知ってもらうために、駒ヶ根工場に勤務する社員の家族見学会を行っています。



□社会貢献の為、災害時に活躍する煮炊き兼暖房用バーナーを各地方自治体に積極的に提案しています。



災害時の煮炊き用としての活用



暖房用としての活用

5. SDGs の取組み

SDGs の取組みの狙い…【雇用、納税、事業活動、製品利用等での関わりで社員とその家族、地域、社会等への貢献度向上を目指し、愛され、必要とされ、役に立つ組織集団を形成すること】

□基本、2030 年へ向けての持続可能な企業へ(紐付け)… 「ISO14001・ISO9001 の認証」
「行動計画…方針管理」「自己適合宣言への活動」「リスク及び機会分析による経営貢献」

□狙い…「企業イメージの向上」「社会の課題への対応」「生存戦略になる」「新たな事業機会の創出」

「SDGs 関係図表」

(資料元：環境省 HP)



